

事業番号	079
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	雇用対策事業						担当部	地域活性化営業部		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	商工振興課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	商工労政係		
	総合計画 分野別計画	主目的	5 産業・交流		20 商工業		4 就職希望者や未就労者の就労を支援します				
		副目的									
	予算区分	款	5	項	1	目	1	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 勤労者に対して雇用の安定と福祉の向上を図る。 求職者・求人者に対して就業の促進を図る。 									
	内容 (手段)	<p>【平成25年度実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさとハローワーク管理業務 労働局と共同で名鉄小牧駅ビル内に「小牧市ふるさとハローワーク」を開設し、ハローワークと同様に、愛知県内の求人情報を端末機で検索できるほか、相談員による職業相談、職業紹介の業務を行った。2,000千円 求職者支援セミナーの開催 失業者(求職者)を対象に、履歴書の書き方など、求職活動に役立つ内容の講座を6回開催した。 <p>【25年度その他直接経費の内訳】 社会保険料(230千円)、講師謝礼(60千円)、普通旅費(6千円)、消耗品費(62千円)、通信運搬費(162千円)、手数料(48千円)、委託料(17千円)</p> <p>【26年度直接経費の内訳】 講師謝礼(90千円)、雇用対策協議会委員謝礼(77千円)、普通旅費(7千円)、消耗品費(243千円)、通信運搬費(188千円)、手数料(54千円)、求職者支援セミナー託児委託料(22千円)、事務機器借上料(61千円)、地域職業相談室借上料(1,669千円)、地域職業相談室電気料金負担金(300千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	3,048	3,027	2,585	2,989	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	526	526	526	526
		その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00
			人件費	千円	1,506	1,521	1,504	1,705
		費用合計	千円	5,080	5,074	4,615	5,220	
	対前年比	%			99.8	90.9	113.1	
財源	一般財源	千円	5,080	5,074	4,615	5,220		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	求職者支援セミナー参加人数(延べ人数)	求人・求職相談、検索機使用件数	件	目標	30,000	30,000	30,000
実績				30,272	28,830	24,656	
業	求職者支援セミナー参加人数(延べ人数)	人	目標	—	120	120	120
			実績	20	73	45	
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			就職件数	人	目標	—	—
			実績	507	437	423	
業	求職者支援セミナー参加者後就職につながった人数	人	目標	—	—	—	—
			実績	—	6	3	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークについては、毎日100人近くの来所者があり、多くの相談、検索機の使用等の対応ができた。 ・求職者支援セミナーを6回実施し、延べ45人の参加があった。 ・求職者支援セミナーを受講後、33人にアンケートの依頼をしたところ、19人から回答をいただき、そのうちセミナー受講後3人が就職につながったと回答した。 				
		事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークについては、景気の動向に左右される事業でもあるが、随時求職者に適切な情報提供ができるよう努める必要がある。 ・求職者支援セミナーについては、より多くの方が就職につながるようなセミナーを実施する必要がある。 				
		事業を縮小・廃止したときの影響	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークについては、毎日100人近くの来所者があるため、廃止すると利用者はハローワーク春日井まで行く必要があり大きな影響を受ける。 ・求職者支援セミナーについては、小牧市民がより近くで求職活動に対する知識を学ぶ機会が失われ、市民サービスの低下につながる。 				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より引き続き求職者支援セミナーを受講する方に対して託児できるように機会を設ける。また、引き続き参加者に対してアンケート調査を実施し、春日井若者サポートステーションやハローワークと連携して、より就職につながる内容でのセミナーを開催する。 				
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークは、毎日多くの来所者があるため、事業を継続する。 ・求職支援セミナーについては、若年者や高齢者等社会的ニーズの高いセミナー内容を検討することによって、実施する必要があると思われる。 					
	27年度以降の改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークについては、PR活動により利用率をあげるように努める。 ・求職者支援セミナーについては、内容についてより就職につながるような内容で実施をする。 					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	<p>求職者支援セミナーについて、現在は、講座開始時と比較して、有効求人倍率が回復しており、本講座の必要性は低くなっているため、縮小又は廃止も含めて今後の方向性を検討する必要がある。</p> <p>(愛知県の有効求人倍率)</p> <p>22年度:0.70 23年度:0.94 24年度:1.14 25年12月:1.49</p> <p>市の単独事業であるため市外受講者を受け入れる必要性は低く、市内受講者に限るべきである。</p>